

## 第5回 総合分析実験センターセミナー

遺伝子定量のイノベーション

# デジタルPCRセミナー

Bio-Rad QX200™ Droplet Digital™ PCRシステム

共同利用機器として、新たに、デジタルPCRシステム（バイオ・ラッド社）が導入されましたので、以下の通り、新規導入機器の利用説明会を開催いたします。

**実施日** 2014年10月28日（火）

**第1部** **講演**  
13:30~15:00 院生棟2階 2260室 セミナー室

**第2部** **実機での取扱い説明**  
15:00~17:00 基礎研究棟3階 2327室



デジタルPCRは、遺伝子の高精度・高感度な定量解析を可能とし、リアルタイムPCRやアレイ、次世代シーケンサーとともに重要な技術となっております。

なかでもバイオ・ラッドのデジタルPCRテクノロジーは、がん・感染症・遺伝子発現など分野において、高精度・高感度定量ツールとして活用されており、すでに100報を超える論文が発表されております。システムの販売から2年が経過し、国内においても多くのお客様にご使用いただいております。

本セミナーでは、デジタルPCRの原理や最新のアプリケーション例をご紹介します。

### アプリケーション例

がん研究：  
微量変異の検出  
切片試料からのマーカー遺伝子の検出

微量遺伝子発現解析：  
レーザーマイクロダイセクション試料  
シングルセル

コピー数多型(CNV)測定：  
疾患関連遺伝子のコピー数の測定  
トランスジーンコピー数の測定

次世代シーケンサーとの併用：  
ライブラリ定量  
エマルションPCRによる配列増幅への応用

ウイルスの高感度検出

**BIO-RAD**